

## ■ 2) 説明 5 点

### ▼行事名

子どもがつくるまち ミニいちかわ

### ▼団体名

NPO法人市川子ども文化ステーション

<http://gekijyo.blog48.fc2.com/blog-category-17.html>

### ▼開催開始年、主な開催期間（例：2005年より3月の春休みの土日？日間 など）

2003年11月 第1回 土日の2日間開催 以後毎年10月の土日

2005年からは 2会場（行徳地域と大洲地域）で10月の土日計4日間開催

### ▼参加人数（ユニーク数、延べ数、大人のユニーク数）

2006年 2会場合計 こども延べ 4800人

関わった大人（10代スタッフと大人スタッフ） 2会場合計延べ 550人

### ▼特徴（開催場所、主催者、他の「こどものまち」と比べて）

開催場所は地域の大型公園を利用。市川市の南地域に位置する行徳駅前公園で第1回を開催。2005年からは、市の中央に位置する「大洲防災公園」も会場となり、2会場計4日間の開催となった。2会場とすることで、より多くの地域のこどもをカバーすることができる。

特徴として、主催団体のメンバーである多くの中高生・青年が中心となって準備から関わり、当日はまちの運営の中心を担っている。また他のこどものまちと比べ、当日のこどもの参加者が多く（昨年は1日平均1200人）常にスタッフ不足の状態となっている。受け入れられるこどもの人数や幼児の参加について課題となっている。

### ▼準備（体制、期間）

毎年5月頃から中高生・青年約40人前後が中心となり、「ミニいちかわ」の準備、開催を担っている。同時に当日関わる大人スタッフも組織し、後方支援として主にまちの店舗の準備を担う。